

【学校運営協議会資料】

令和4年度 堺東高等学校 第2回 学校運営協議会

ご提言・ご意見のまとめ

令和4年度 堺東高等学校第2回学校運営協議会が、11月17日に開催されました。第2回の協議事項は、「探究・産業社会と人間の取組みについて」、「スクールミッションについて」です。当日、各委員のご提言、ご意見の概略を以下のようにまとめました。

協議会委員

- 1 津田 謹輔 (帝塚山学院大学 学長)
- 2 上川 紀久恵 (堺市立晴美台中学校 校長)
- 3 遠藤 真砂美 (晴美台1丁北自治会)
- 4 森 繁樹 (本校同窓会長)
- 5 吉田 恭子 (本校PTA会長)
- 6 阿部 直紀 ((株)ベネッセコーポレーション)



協議委員の方々

事務局

校長 教頭 事務長 首席 企画委員

【次第】

- 1 校長挨拶
- 2 1年次探究「障がい者スポーツ体験」見学など
- 3 看護棟の紹介と堺支援学校との交流について(教頭)
- 4 スクールミッションについての説明(校長)
- 5 スクールミッションについての質疑応答と進路状況の説明

第1回テーマ

「探究・産業社会と人間の取組みについて」

「スクールミッションについて」

■校長より

本日の協議に入る前に、校長より挨拶に続いて堺東高校の近況報告がありました。

- 現在のコロナの状況は、学校のことは学校で判断することになっています。できる限りコロナ前の状況に戻そうと考えており、体育祭も3年の保護者に限定したが公開で開催した。文化祭についても生徒が楽しめるようにしたい。また、感染防止を徹底していきたい。

■ 1 年次探究「障がい者スポーツ体験」見学など

◇体育館 1 階多目的ホールで行われていたボッチャの体験を見学

◇体育館 2 階フロアで行われていた車いす体験を 3 階から見学

看護棟で

■ 看護棟の紹介と堺支援学校との交流について(教頭)

■ スクールミッションについての説明(校長)

を行った後

◇体育館 2 階フロアで行われていた車いすバスケット体験を見学

■ 看護棟の紹介と堺支援学校との交流について

【 看護棟について 】

- 准看護師を養成するなど府立学校唯一の看護学科を設置していた府立白菊高等学校が閉校し、その理念を受け継ぐ学校として本校が総合学科に改編したときに看護実習棟は、建てられました。そのため、ナイチンゲール像など備品を譲り受けています。
- 現在 4 つの講座と一つの集中講座が開講されていますが、直接資格取得につながるものではなく、看護学校等への進学について適性を見極めることや受験時の面接・レポートなどに役立っています。
- 看護実習室、成人母子実習室、看護講義室の 3 つの教室があり、看護実習室には 10 台のベッドがあり、ベッドメイキングなどの実習を二人一組で行っています。成人母子実習室には、入浴やトイレの介助が体験できる施設や、新生児の保育器などあります。座学は看護講義室で行っています。

【 1 年後期の探究講座について 】

- 「ガシ高バリアフリープロジェクト」ということで、障がいのある・なしにかかわらず「ともに学び、ともに育つ学校生活の充実」を目標にしています。1 年次としては「理解を進める」ことを目標に、パラリンピックなどを題材に調べ学習をし、本日の障がい者スポーツ体験から堺支援学校との交流につなげる流れになっています。
- 本校は、堺支援学校と 30 年近く交流を続けています。また、35 期生からは知的障がい者自立支援コースが設置され、「とも学び、共に育つ」教育を実践しています。
- 堺支援学校との交流については、12 月 15 日に堺支援学校から 30 名程度が来校し、5 名程度ずつ 1 年次のクラスに入ってレクリエーションなどし、交流します。7 月はクラスの代表など 50 名程度が堺支援学校を訪問して交流していましたが、コロナ禍であるため今年度は各クラスの代表が本校を紹介する動画やクイズなどを作成し、オンラインで交流しました。

- 本日は、ボッチャ・車いすの2つの体験を1・4・6組と2・3・5組に分かれて入れ替えて体験している様子を見ていただきました。このあと15時から代表生徒による車いすバスケットボール体験を見学していただきます。
- 今回の体験の目的は、気を付けなければならないことなど確認し、障がいのあるなしにかかわらずできること・楽しめることを考えて12月交流会につなげることです。

■ スクールミッションについての説明

【 校長より 】

- この春に教育委員会よりスクールミッション・スクールポリシーの策定が指示されました。今年、スクールミッションの提出が求められており、地域とのかかわりや歴史などを踏まえ、本校の社会的な役割を考えることとなります。スクールミッションを教育委員会が決定し、各校にしめしている県もありますが、大阪府では各校で原案を考え12月に提出、委員会がそれをもとに2月に決定する流れになっています。
- 本校では、FA委員会を中心に職員会議でグループワークをし、配布資料のような意見を集約して原案を作成、職員会議でさらに意見を求めるなど、やり取りをして最終案をまとめました。ポイントとしては、中学生にもわかりやすいように「主体的に学ぶ」「仲間と学ぶ」「夢に向かってチャレンジする」という3つの目標を掲げていることです。
- 来年は、卒業後を見据えた出口としてのグラディエーションポリシー・在校している3年間を見据えたカリキュラムポリシー・入学してほしい中学生を見据えたアドミッションポリシーと遡るように考えながらスクールポリシーを策定することとなります。配布資料にあるように具体的な教育活動を3つあげ、来年度のたたき台となるようにしました。

■ スクールミッションについての質疑応答 □説明 ■意見・質問

- 大学でも2年前に作成したが、3つのキーワードはいいと思います。
- 中学校でも高校が出されているアドミッションポリシーなどを参考にどのような教育をされているのかを調べて、高校のさらにその先の進路までを見据えて進路決定するように指導しています。
- 私立高校に進学する割合が増えてきており公立高校として危機感があります。中学生に分かりやすいポリシーを考えました。うまく浸透してくれればいいと考えています。
- 「探究」がキーワードになっています。進学先で公開している学生が増えてきています。探究活動を行うことで進路や学校生活にこだわりを持つことができるのではないかと感じる。
- 近隣で府立学校の廃校が相次いでいるので、同窓会としても不安を感じています。自立支援コースのことを特色として周知してもらえたらよいと思います。今回のボッチャや車いす体験は身体障がいについてでしたが、その他の障がいのことや見えない障がいについても考える機会があるとよいと思います。

- 中学校の進路指導では、この成績でどこに合格できるのかが保護者の大きな関心事になっています。育てたい生徒像などをよく調べて参考にしてほしいと考えています。選択が多い総合学科として様々な可能性があることを伝えてもらえるとよいと思います。

■ その他 説明 意見・質問

【 進路指導部より 】

- 別紙(A4)にありますように、4年制大学進学者が増加しています。また、浪人が含まれるその他が減少しており、現役志向が強くなっているようです。現在、公募制推薦入試が行われており、そろそろ結果が返ってきます。

【 協議委員より 】

- 最近学校に来る機会が多かったのですが、前回お願いした生徒のあいさつについては、一部の部活動の生徒を除いて相変わらずですね。大きな声であいさつしてほしいと思います。
- 地域の小学校の見回りであいさつ運動をしています。学校で知らない人から声をかけられてもあいさつするなど指導されているので、最初は挨拶しても返ってきませんが、続けていると返してくれるようになります。地域で見ていると堺東高校の生徒は、ちゃんと返してくれるので大丈夫ですよ。
- 挨拶されたから返すのではなく、自発的にしてもらいたいと思います。

今年の日程

【第3回】 令和4年 1月26日(木) 午後3時~5時
を予定しています。よろしくお願いいたします。